



電力会社から架空で電力の供給を受けるときは、区分開閉器が必要です。

高圧受電設備規定 (JEAC-8011) により電気保全を確保しなければなりません。

- 保安上の責任分界点とは
「自家用電気工作物設置者と電気事業者の保安上の責任範囲を設定する個所をいう」
具体的な位置としては、PAS1次側リード線先端と電力会社高圧引込線との接続部分です。
財産分界点にもなっています。

- 区分開閉器とは
「保安点検の際に電路を区分するための開閉装置をいう」
架空の場合は、PASであり、地中線の場合は、UGSです。
- 敷地と公道との境界に、電力会社との協議の上、構内第一柱を設置します。
- 受電点で新設、増設工事を行うときは、開閉器として
「地絡継電器装置付高圧交流負荷開閉器 (区分開閉器) (Ground Relay 付 Pole Air Switch)」
を使用します。
- 交流負荷開閉器の定格として
制御装置は、SOG (地絡検出：方向性または無方向性) であること、となっています。
PASとSOG動作機能は、組合せて使用します。
- 工事写真 赤色破線太丸内の機器がPASです。
- 敷地内で発生した電気系統の地絡または短絡事故などによる近隣への波及事故を防ぐことができます。
- PASは開閉器ですから
負荷電流を遮断することはできますが、短絡電流のような大電流を遮断することはできません。
- SOG動作機能とは
Storage Over Current Ground の略称です。
PASまたはUGSに付属する保護器装置です。
SOGには [SO] と [GR] の2つの働きがあります。

- [SO] とは
Storage Over Current の略称です。
[蓄勢 + 過電流] で短絡電流のことです。

- 構内で短絡事故が発生
 - ▽
開閉器に遮断可能な電流を超えて過大電流が流れた
 - ▽
継電器が作動して開閉器の [閉路] を保持する
 - ▽
電力会社の継電器が働いて電力系統は [開路] となる
 - ▽
無電圧または無充電状態になるとPASは自動的に [開] となる
 - ▽
電力会社が再送電する
PASは [開] 状態ですから [復電] が可能となる

- [G] とは
構内で地絡事故が発生すると
電力会社の地絡継電器より早く作動して開閉器を [開] とする
地絡開放作動です。

- [DGR] とは
Directional Ground Relay の略称です。
地絡方向継電器のことです。
構内の高圧設備が短絡事故、地絡事故のとき [開路] 動作を行います。